

□高等植物分布資料 (109) Materials for the distribution of vascular plants in Japan (109)

□エゾイチヤクソウ *Pyrola minor* L. 北海道の産地については原寛博士により利尻島・礼文島があげられ、標本として利尻島産が引用された (本誌 51: 74, 1976)。利尻島では筆者も1982年7月19日標高 500-700 m の亜高山帯で採集した。しかし礼文島産については確かな標本をみていない。北海道大学農学部標本庫に、館脇操博士が1920年7月5日礼文島二並山で採集しエゾイチヤクソウと同定された標本があるが、これはカラフトイチヤクソウである。またエゾイチヤクソウのカバー中に、柳沢・浜名両氏により1911年8月6日夕張岳で採集され原博士によりエゾイチヤクソウと同定された標本が貸し出し中と記録されているが、残念ながらこの標本は確認できない。以上とは別に、筆者は1982年8月12日に夕張岳標高約 1300 m 付近でこれを採集することができた。したがって、北海道の産地で確実なのは利尻島と夕張岳であり、礼文島については再調査の必要がある。

一方、本州産のものについては最近山崎敬博士が整理された (本誌 58: 357, 1983)。昨年筆者は東北大学理学部の標本中に2個体のエゾイチヤクソウを確認した。これは陳子聡・井上健両氏が1980年8月3日、飛驒山脈の北部、新潟県糸魚川市の雪倉岳標高 1900-2200 m で採集したものである。エゾイチヤクソウは赤石山脈以外に、本州中部の亜高山帯に広く分布している可能性がある。

(北海道大学 農学部附属植物園 高橋英樹 Hideki TAKAHASHI)

□大田 弘・小路登一・長井真隆：富山県植物誌 430 pp. 1983. 広文堂, 富山. ¥6,000. 富山県の植生とシダ植物以上の高等植物の目録からなる。植生は宮脇昭氏の植生区分を基礎に記述されている。高等植物は2,445種が記録されている。富山県は新潟、山形県と共に日本海側に分布する植物の中心地域であり、立山、白馬岳などの高山植物の宝庫である。この地域の植物がまとめられたのは喜ばしい。今後の自然誌の研究に大いに役立つと思う。植物目録を見ると富山県には分布していないのでないかと思われるものが見られる。植物群によっては専門家に協力してもらうことが必要であったと思う。間違った同定でも一度記録されると、標本がないかぎり訂正するのはなかなか困難である。今後の研究の重要な資料であるから、目録の基礎となった標本を富山市の科学文化センターのような確かな所に保存しておいてほしい。 (山崎 敬)